

UCHIDA

*U*chidayoko  
*Institute for Education Research*

---

内田洋行 教育総合研究所

<https://ueric.uchida.co.jp/>

# 内田洋行 教育総合研究所とは

内田洋行教育総合研究所は、教育に関する数々の調査・研究・開発実績を持つ教育専門の研究組織です。  
「いい学校づくり、いい教育づくり、いい授業づくり」を支え、次世代教育のグランドデザインを描くために活動しています。



## 調査・研究

中央省庁や地方自治体、学術機関・団体より、教育に関する様々な調査・研究事業を受託、推進しています。また、自主研究事業として大学や研究機関とともに、教育に関する研究を進めています。



## 教育行政推進

学校現場のICT機器整備やこれからの教育に向けた指標の設定等、自治体や教育機関の抱える多種多様なお悩みに対し、幅広い知見や豊富な実績をもとに、コンサルティングや提言等を行います。



## データアナリティクス

自治体や学校が保有している、膨大化する調査データの有効活用を支援するため、各種学力データや体力データ、生活状況のデータ等の分析サービス、データ分析に関する教員向け研修サービス等を提供します。



## 教育コミュニティづくり

教育セミナー&展示会であるNew Education Expoを始め、教育に関する様々なセミナー、イベント及び講演や、教員・教育関係者と保護者のためのコミュニティサイト「学びの場.com」の企画・運営を行っています。



## 調査・研究 事例

中央省庁や地方自治体、研究機関・団体からの教育に関する様々な事業の受託や、大学と産学共同で調査・研究を実施し、次世代を担う人材を育成するための教育改善や新しい教育環境等の開発に資する「調査・研究」を行っています。

文部科学省  
委託事業

教育データ  
活用

統合型校務  
支援システム

ICT利活用

### 校務系・学習系データを連携・活用する 方策の整理

次世代学校支援モデル構築に関する調査研究(平成29-30年度)

【調査研究概要】

統合型校務支援システムを単なる帳票の電子化としての機能にとどめず、そのデータと学習履歴、学習記録等の学習系データと連携し、学びを可視化することで、教育の質の向上を図る取り組みについて調査し、システム要件や活用法を整理しました。

文部科学省  
委託事業

学力・学習  
状況調査

英語  
4技能

Computer  
Based  
Testing

### 中学生の英語4技能の習得状況に関する 全国学力・学習状況調査

平成30年度全国学力・学習状況調査  
【中学校の英語予備調査】(平成29-30年度)

【調査研究概要】

平成31年度全国学力・学習状況調査における中学校英語調査を円滑に実施するための予備調査の実施。「聞くこと」、「読むこと」、「書くこと」、「話すこと」の4技能を問う問題を出題し、記述式の問題を一定割合導入する。「話すこと」については学校のコンピュータ教室等で実施し、コンピュータで出題、口述解答を録音する形式で実施する。

文部科学省  
委託事業

学習環境

学校施設・  
設備

主体的・対話的  
で深い学び  
(アクティブラーニング)

### 大学教育の質的転換に資する 多様な学修スペースの事例集作成

平成27年度文部科学省委託事業  
教育の質的転換を図る多様な学修スペースの整備に関する調査

【調査研究概要】

国内外の大学における、アクティブ・ラーニングやラーニング・commons、レクチャーシアター等、教育の質的転換を図ることを目的として整備された多様な学修スペースについて、優良な事例を収集し、教育研究上の効果や整備時の留意点等について分析し、事例集を作成しました。

文部科学省  
委託事業

学力・学習  
状況調査

高大接続

Computer  
Based  
Testing

### 高大接続改革における CBT (Computer Based Testing) 調査の実施

「高等学校基礎学力テスト(仮称)」に関する試行調査・研究事業(平成28年度)  
「高校生のための学びの基礎診断」に関する試行調査・研究事業(平成29年度)

【調査研究概要】

平成28年度は実践研究校12校等に対し、国数英に関するCBT調査や、PBT(Paper Based Testing)調査を実施しました。また、平成29年度は8校に対し、CBT調査を実施しました。オンライン方式もしくはUSB方式で実施し、学校のICT環境を使用しています。



問題画面  
イメージ

総務省  
委託事業

学習環境

クラウド  
活用

主体的・対話的  
で深い学び  
(アクティブラーニング)

### 教育現場におけるクラウド環境の 調達・導入・セキュリティの整理

教育現場におけるクラウドを中心としたICT環境構築に係る調査研究(平成27年度)

【調査研究概要】

教育現場でのクラウドを中心としたICT環境整備における課題等を抽出し、クラウド環境構築のための「調達」、「情報セキュリティに関する手続き」、「導入」のための3種類のガイドブックを作成しました。クラウドの構築パターンや担当者の実際の悩みを基にした課題解決の方法等を整理しています。

文部科学省  
委託事業

情報活用  
能力

ICT利活用

Computer  
Based  
Testing

### 情報活用能力調査における CBT (Computer Based Testing) 調査の実施

情報活用能力調査の今後の在り方に関する調査(平成29年度)

【調査研究概要】

新学習指導要領で学習の基盤となる資質・能力と定められた「情報活用能力」について、小学校、中学校、高等学校等の児童生徒の能力を、CBT調査で行うための枠組の検討を行いました。

文部科学省  
委託事業

情報活用  
能力

カリキュラム・  
マネジメント

主体的・対話的  
で深い学び  
(アクティブラーニング)

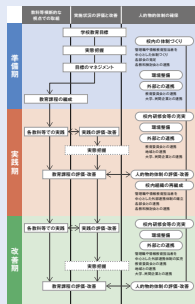
## 情報活用能力の体系的な整理や主体的・対話的で深い学びを促すICT活用の整理

情報通信技術を活用した教育振興事業

「教育の情報化の推進に関する調査研究」(平成28年度)

「次世代の教育情報化推進事業」

(情報活用能力の育成等に関する実践的調査研究)(平成29年度)



情報活用能力育成のための  
カリキュラム・マネジメントモデル

【調査研究概要】

新学習指導要領で学習の基盤となる資質・能力と定められた「情報活用能力」の体系表作成や育成のためのカリキュラム・マネジメントに関して整理しました。また、各教科等の学習過程におけるICT活用方法や質的評価について整理しました。

文部科学省  
委託事業

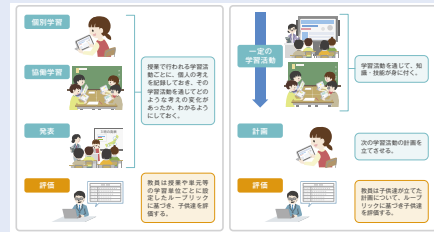
学習評価

ICT利活用

主体的・対話的  
で深い学び  
(アクティブラーニング)

## ICTを活用した新たな学びの先導的な実践と評価

情報通信技術を活用した教育振興に資する調査研究(平成26-28年度)



【調査研究概要】

学校間、もしくは学校・家庭が連携した新しい学びを推進するためのICT活用方法の整理やパフォーマンス評価手法を活用した学習評価等の調査研究を実施しました。

パフォーマンス評価の  
イメージ

文部科学省  
委託事業

遠隔学習

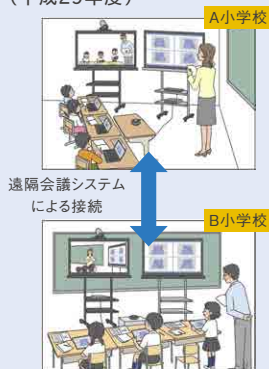
ICT利活用

学習環境

## 人口過少地域における遠隔合同授業の実践と普及展開のためのガイドブック等作成

「ICTを活用した遠隔学習における教育の質の維持向上に係る調査研究」

(平成29年度)



【調査研究概要】

いわゆる人口過少地域における小規模校の教育上の課題を克服するため、学校同士をICT(遠隔会議システム)で結び、比較的長期間にわたり遠隔合同授業を実施。本事業による成果の普及展開を図るため、「遠隔学習導入ガイドブック」等を作成しました。

文部科学省  
委託事業

教育データ  
活用

学力・学習  
状況調査

データ  
アナリティクス

## 個票データの匿名化に関する調査研究

学力調査を活用した専門的な課題分析に関する調査研究(平成29年度)

【調査研究概要】

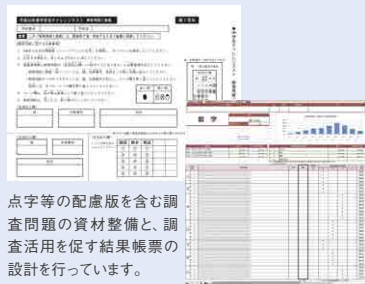
全国学力・学習状況調査データの研究利用を促進し、エビデンスに基づく政策形成を推進するため「個票データの匿名化」に関する技術的検討およびデータ作成を担当しました。作成した匿名データは、文部科学省にて審査の上、研究者に貸与される予定です。パブリックユースデータ(擬似データ、集計表からデータ生成した、個人情報は一切含まないデータ)は、文部科学省のウェブサイトにてダウンロード可能です。

地方自治体  
委託事業

学力・学習  
状況調査

## 自治体独自調査の資料整備、配送回収、採点、集計・分析

中学生チャレンジテスト(大阪府)(平成28-30年度)



点字等の配慮版を含む調査問題の資料整備と、調査活用を促す結果帳票の設計を行っています。

1学年あたり約7万人規模、1・2年:1月実施、3年:6月実施  
調査実施から結果提供までおよそ2ヶ月間で実施しています。

【調査研究概要】

府内の市町村立中学校の第1学年～第3学年生徒を対象に行う「大阪府チャレンジテスト」に伴う調査資料の整備、配送回収、採点集計にいたる一連の業務を実施しています。

中1:国語、数学、英語  
中2、中3:国語、数学、社会、理科、英語

地方自治体  
委託事業

教育データ  
活用

ICT利活用

クラウド  
活用

## クラウドを利用した自学自習型学習管理システムの構築・運営

神奈川県「子ども一人ひとりの学びづくり支援システム」構築業務(平成29年度)



学習状況一覧(小5国語)

採点結果入力画面

【調査研究概要】

小学校において、一人ひとりの児童の自学自習の習慣作り及び基礎的・基本的な知識や技能の定着に向けたPDCAサイクルの確立を目指すため、児童が自分で取り組むべき問題を選び、採点・結果の入力を行い、学習状況の把握ができるシステムの構築・運用を行いました。

共同研究 新学習指導要領 ICT活用 主体的・対話的で深い学び (アクティブラーニング)

### 主体的・対話的で深い学びに資する教師の手立てとICT活用を提案

新学習指導要領で育成を目指す資質・能力の具体化と指導方法等に関する研究(平成28-29年度)

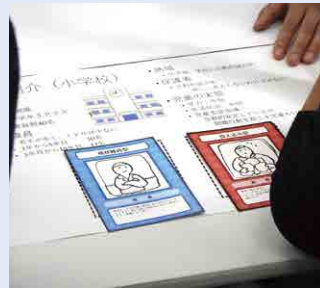
【調査研究概要】

主体的・対話的で深い学びを実現する授業設計のために、中央教育審議会の資料等を基に、「学習過程」に応じた「授業改善の視点」と「教師の手立て」をマッピングし、それぞれの手立てに有効だと考えられるICT活用を提案しました。

共同研究 学校経営 教員研修 主体的・対話的で深い学び (アクティブラーニング)

### スクールリーダーに関する調査研究と教員研修の開発

アクティブ・ラーニング推進時代に対応したミドルリーダー・管理職に関する調査とサーベイフィードバックによる研修の開発(平成28-29年度)



【調査研究概要】

ミドルリーダー・管理職を対象に、職務の実施状況や能力を高める上で役に立った経験について調査を実施しました。調査結果をもとにカードゲーム型の研修を開発し、横浜市教育委員会の公式研修として実施しました。

共同研究 学習環境 認知科学 主体的・対話的で深い学び (アクティブラーニング)

### 先端的な認知科学と教育実践 (慶應義塾大学SFC研究所との共同研究)

先端的な認知科学と教育実践に関する研究(平成25年度～)



慶應義塾大学 環境情報学部 教授 今井 むつみ 氏

【調査研究概要】

国内外の認知科学研究者や学びの実践者との研究会や体験型ライブを通じ、探究的な学びのプロセスや形を具現化するための研究活動を実施しています。

共同研究 学習環境 ICT活用 主体的・対話的で深い学び (アクティブラーニング)

### ICT機器を用いた学習環境や授業実践 (筑波大学附属小学校との共同研究)

「未来の教室」に関する共同研究(平成25年度～)  
「未来の理科室」に関する共同研究(平成28年度～)



未来の教室



未来の理科室

【調査研究概要】

「未来の教室」や「未来の理科室」として、電子黒板や1人1台タブレット端末、デジタル顕微鏡等のICT機器を用いた学習環境やICT機器を活用した授業実践に関する研究を行っています。

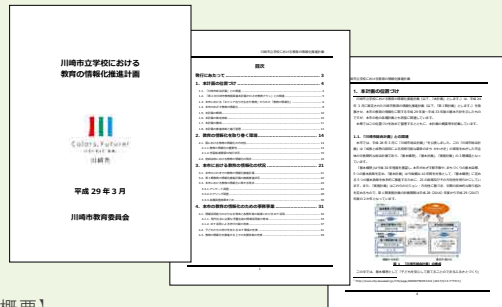
## 教育行政 推進

教育の情報化推進や主体的・対話的で深い学び(アクティブラーニング)の実践をはじめ、自治体や教育機関が抱えている様々な諸課題に対し、これからの教育という観点からコンサルティングメニューを提案します。

地方自治体委託事業 学習環境 ICT活用

### 教育の情報化推進計画策定支援

第Ⅱ期川崎市教育の情報化推進計画策定支援業務委託(平成28年度)



【調査研究概要】

計画の企画・立案を行い、教育の情報化に関する研究協議を実施する「情報化推進協議会」の事務局業務を支援するとともに、Webアンケートやヒアリング調査を実施し、計画策定に必要な情報等の収集・整理を行いました。

## データ アナリティクス

自治体や学校現場に存在する多種多様な複数のデータを関連付け、専門的な観点でのデータ分析を行っています。

また、自校の児童生徒の実態を一番把握している、現場の教員自身がデータを分析するための教員研修サービスも提供しています。

学力・学習  
状況調査

データ  
アナリティクス

教員研修

教育データ  
活用

### 調査データ分析・活用サービス

学校自身がデータを解釈し、現状の特徴や課題を見つけたり、教育委員会が学力調査結果を、教育施策の検討・評価に活用するためのソリューションを提供しています。

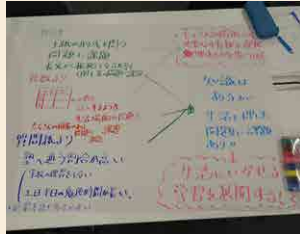
#### 教員研修

#### 学力調査分析ワークショップ

現場の先生方が、調査結果データに基づいて、「自校の子どもたちのどのような資質・能力をのばせば良いか」「どんな授業に改善したら良いか」等を考えることができるように、アクティブラーニングの手法を用いた協働的な分析ワークショップを含めた研修会を提供します。

これまで(2017年度まで)の実績:

教育委員会公式研修(5件)、小中学校校内研修(12件)、公募型イベント(3件)等



#### 統計分析

#### 調査データ分析コンサルティング

専門的な観点で調査結果を解釈し、統計的手法等も用いて、仮説導出から検証までを行うコンサルティングサービスを提供します。

これまで(2017年度まで)の実績:

横須賀市学力・体力・生活意識調査を活用した専門的な課題分析に関する調査業務、大阪市教育センター機能充実事業に関する「全国学力・学習状況調査等分析」業務、全国学力・学習状況調査(姫路市)業務、泉大津市全国学力・学習状況調査結果分析業務等



## 教育コミュニティ づくり

学術機関や教育現場、官公庁や産業界等、教育に携わる全ての人々が教育の今、そして未来をともに考え、協創する場として、教育セミナーの企画・開催や、教育コミュニティサイトの企画・運営を行っています。

### 教育カンファレンス

#### ● New Education Expo

1995年より開催している教育セミナー&展示会です。

全国でご活躍されている研究者や実践者の方々に先進的な取り組みや実践事例をご紹介いただくとともに、最新の学習環境・教育機器を展示し、「未来の教育を考える場」をご提供しています。



### コミュニティサイト

#### ● 学びの場.com

学びの場.comは、学校関係者や保護者の方をはじめ、教育に興味のある全ての方に向けて、「いい学校」「いい教育」「いい授業」づくりを支援するため、優れた学習指導法や新しい教材、ユニークな学校活動や教育的試み等、様々なコンテンツを提供する、教育コミュニティwebサイトです。

教育総合研究所研究員による最新の調査・研究・実証プロジェクトレポートや成果紹介、教育トレンド解説等の記事も掲載しています。

学びの場  
COM

先生のオフをサポート

先生のオフをいっしょに



知る



読む



役立つ



参加する



<https://www.manabinoba.com/>



# Future Class Room®

内田洋行では、教育の情報化を実際に体感できる場として「Future Class Room®」を東京と大阪の2か所に設置しています。「Future Class Room®」は、65年以上にわたり学校の先生や行政の方々、そして子供達とともに教育現場を見つめてきた内田洋行が、子供達の視点でデザインした未来の学習空間です。

「Future Class Room®」では、先端のICT環境を活用した実践及び検証を始め、フレキシブルな学習空間における実践等、最新の技術・デザイン・コンテンツ等を基に、お客様との協創による新たな価値を創出しています。

**ぜひ一度、Future Class Room®へ  
お越しください。(予約制)**

見学のご予約は、担当営業または内田洋行ウェブサイトショールーム「Future Class Room®」のご見学予約フォームよりお申込みください。

**【ご見学の事前予約webサイト】**

<https://www.uchida.co.jp/company/showroom/futureclassroom/index.html>

※お問い合わせ時間 平日9:00-17:00(祝祭日、年末年始、夏季休暇等除く)

株式会社 **内田洋行**

〒104-8282 東京都中央区新川2-4-7

<https://www.uchida.co.jp/>

**お問い合わせ**

株式会社内田洋行 第1企画部 03(5634)6397



TOKYO



OSAKA

## ユビキタス協創広場CANVASの活用シーン

Future Class Room®をはじめとした、内田洋行が提案する空間とコンテンツが融合した双方向型の多目的スペース「ユビキタス協創広場 CANVAS」は、教育関係者の皆様と、これからの教育や学習環境をともに考えて行く場として活用されています。また、場の活用だけでなく、コンセプトの活用として、実際の学校に取り入れられています。



模擬授業やグループ学習での活用シーン

セミナーや各種イベントでの活用シーン



Future Class Room®のコンセプトに基づき設置された「未来の教室 (ICT活動教室)」筑波大学附属小学校



内田洋行教育総合研究所はホームページを通じて、調査・研究実績を公開しています。

また、教育に関するトレンドや新しい概念、キーワード、トピック等について、当研究所の研究員、関連スタッフが解説・レポートする「ナレッジレポート」を公開しています。

<https://ueric.uchida.co.jp/>

内田洋行教育総合研究所  
ホームページ

## 沿革

1998-1999

- ・情報処理振興事業協会(IPA)「教育の情報化推進事業」受託
- ・この経験に基づき、教育施策と関連する各種事業の受託を推進するチームを発足

2000

- ・文部省「教育用コンテンツ開発事業」受託

2001

- ・コンピュータ教育開発センター「地域産業教育情報化推進事業」画像素材制作他受託

2002

- ・2002年1月「教育情報化推進係」、7月「教育情報化推進課」発足
- ・文部科学省「デジタルコンテンツの活用高度化事業(高校教育情報化研究協議会)」他受託

2003

- ・2003年7月「e教育推進課」発足
- ・コンピュータ教育開発センター「Eスクエア・アドバンス」e-黒板研究会事務局支援業務受託

2004

- ・総務省「地域ネットワーク型コンテンツ運用モデルに関する調査・研究(EduMart実証実験)」他受託

2005

- ・文部科学省「教育情報共有化促進モデル事業」、「教育の情報化促進用DVD制作」他受託
- ・静岡大学との学校用CMSに関する共同研究を実施

2006

- ・2006年7月「教育総合研究所」設立
- ・コンピュータ教育開発センター「Eスクエア・エボリューション」OSS教育利用に関する実証実験
- ・文部科学省「電子黒板普及推進に関する調査研究」、「学校教材整備の仕組みの構築(一般財団法人 日本教材備品協会より受託)、総務省「ユビキタスネット時代における新たなICTメディアリテラシー育成方法の調査・開発」他受託
- ・メディア教育開発センターとの包括連携協定に基づく共同研究プロジェクト「UNIQUE」開始

2007

- ・文部科学省「電子黒板普及推進に関する調査研究」、「デジタル指導案を用いたICT機器の活用に関する調査研究(一般財団法人 日本視聴覚教育協会より受託)」他受託

2008

- ・文部科学省「全国学力・学習状況調査事業(中学校)」、「小学校における英語活動で活用できる教材開発事業(英語ノートデジタル版開発)」他受託
- ・インテル株式会社との共同研究「“児童一人に一台のPC”プロジェクト」開始

2009

- ・文部科学省「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」、「電子黒板の活用により得られる学習効果等に関する調査研究」、総務省「ICTメディアリテラシー育成プログラムの普及事業」他受託
- ・玉川大学学術研究所との共同研究「UTプロジェクト」開始

2010

- ・総務省「ICTを活用した協働教育の推進に関する調査研究(フューチャースクール推進事業)」への参画

2011

- ・文部科学省「特別支援学校施設整備の事例作成に関する調査研究」
- ・総務省「放送分野におけるメディアリテラシー教材活用に関する調査研究」他受託

2012

- ・文部科学省「情報教育の推進等に関する調査研究」、「デジタルコンテンツの質の保証に関する調査研究」受託
- ・総務省「教育分野における効果的なICT利活用を推進するための調査研究(フューチャースクール推進事業ガイドライン作成)」受託

2013

- ・文部科学省「学びのイノベーション事業(情報通信技術活用実証研究)(事業成果分析等)」、「情報教育の推進等に関する調査研究」2年次、「デジタルコンテンツの質の保証に関する調査研究」2年次受託
- ・総務省「教育分野におけるICTの利活用を推進するための情報通信技術面に関する調査研究(フューチャースクール推進事業ガイドライン作成)」受託

2014

- ・文部科学省「情報通信技術を活用した教育振興に資する調査研究」、「漢字指導の在り方に関する調査研究」、「情報教育の推進等に関する調査研究」最終年次、「総合大学における教員養成の在り方に関する調査研究」、「小中一貫教育を効果的に行うための学校施設整備に関する事例集作成業務」受託

2015

- ・文部科学省「学力調査を活用した専門的な課題分析に関する調査研究業務」、「教育の質的転換を図る多様な学修スペースの整備に関する調査」、「情報通信技術を活用した教育振興に資する調査研究」2年次、「『高等学校基礎学力テスト(仮称)』の問題イメージ等の作成に関する委託事業」、「『人口減少社会におけるICTの活用による教育の質の維持向上に係る実証事業』成果取りまとめに関する調査研究」受託
- ・総務省「教育現場におけるクラウドを中心としたICT環境構築に係る調査研究」受託
- ・一般社団法人日本教育情報化振興会「ICTを活用した教育推進自治体応援事業(ICTを活用した教育の推進計画作成促進のための調査研究)」
- ・株式会社学研ホールディングスとの共同研究「『2020年に向けたこれからの教育環境づくり』に資する協業プロジェクト」他

2016

- ・文部科学省「学力調査を活用した専門的な課題分析に関する調査研究業務」、「情報通信技術を活用した教育振興に資する調査研究」最終年次、「情報通信技術を活用した教育振興事業『教育の情報化の推進に関する調査研究』」、「『高等学校基礎学力テスト(仮称)』に関する試行調査・研究事業」、「『高等学校基礎学力テスト(仮称)』の問題の作成に関する委託調査(国語)(数学)」、「『人口減少社会におけるICTの活用による教育の質の維持向上に係る実証事業』成果取りまとめに関する調査研究」2年次受託
- ・株式会社学研ホールディングスとの共同研究「『2020年に向けたこれからの教育環境づくり』に資する協業プロジェクト」
- ・東北大学「新学習指導要領で育成を目指す資質・能力の具体化と指導方法等に関する研究」
- ・横浜国立大学「アクティブラーニング推進時代に対応したミドルリーダー・管理職に関する調査とサーベイフィードバックによる研修の開発」
- ・大阪府「平成28年度中学生チャレンジテスト(1~3年生) 実施業務」他

2017

- ・文部科学省「学力調査を活用した専門的な課題分析に関する調査研究」、「次世代学校支援モデル構築事業に関する調査研究」、「ICTを活用した遠隔学習における教育の質の維持向上に係る調査研究」、「情報活用能力調査の今後の在り方に関する調査」、「次世代の教育情報化推進事業『情報教育の推進等に関する調査研究』」、「平成31年度全国学力・学習状況調査における中学校の英語調査実施に向けた英語予備調査を実施するための委託事業」、「『高校生のための学びの基礎診断』に関する試行調査・研究事業」、「日本型教育の海外展開推進事業(EDU-Portエポソン)」他受託
- ・東北大学「新学習指導要領で育成を目指す資質・能力の具体化と指導方法等に関する研究」
- ・横浜国立大学「アクティブラーニング推進時代に対応したミドルリーダー・管理職に関する調査とサーベイフィードバックによる研修の開発」
- ・大阪府「平成29年度中学生チャレンジテスト(1~3年生)」
- ・大阪府「大阪市全国学力・学習状況調査分析業務」
- ・神奈川県「子ども一人ひとりの学びづくり支援システム開発事業」他

2018

- ・文部科学省「平成31年度全国学力・学習状況調査を実施するための委託事業(中学校)」、「平成30年度学力調査を活用した専門的な課題分析に関する調査研究」、「平成30年度次世代学校支援モデル構築に関する調査研究」、「平成30年度学校ICT環境整備促進実証研究事業に関する調査研究(遠隔教育システム導入実証研究事業)」、「平成30年度学校ICT環境整備促進実証研究事業に関する調査研究(統合型校務支援システム導入実証研究事業)」、「平成30年度情報活用能力調査の今後の在り方に関する調査」、「次世代の教育情報化推進事業『平成30年度情報教育の推進等に関する調査研究』」他受託
- ・東北大学「新学習指導要領で育成を目指す資質・能力の具体化と指導方法等に関する研究」
- ・横浜国立大学「エビデンスに基づくカリキュラム・マネジメントと学校改善のための調査研究」
- ・大阪府「平成30年度中学生チャレンジテスト(1~3年生)」
- ・神奈川県「子ども一人ひとりの学びづくり支援システムの保守・運用業務」
- ・横浜市「平成30年度横浜市学力・学習状況調査 データ入力・処理業務」他